

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の 特徴	広い敷地とゆったりした駐車スペースがあり、近くには公園と恵まれた環境の中に施設があります。小学校や支所・病院も近くにあり、電鉄柳原駅から徒歩5分と環境の整った場所にあります。ご利用者様の要望に応じて「通い」「泊り」「訪問看護」「訪問介護」を同じ事業所で受けることができ、医療ニーズの高い方も安心してご利用いただけます。また住み慣れた地域で暮らし続けていただけるよう、職員一同真心を込めてお手伝いさせていただきます。
事業所名	看護小規模多機能あったかほーむ柳原	管理者	泉 ムツ子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	0人	0人	0人	1人	0人	10人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ミーティングの回数を増やし、こまめに話し合いができる環境を作る。	月1回の研修を週1回に増やし、話し合いの機会を多くしました。結果として情報の共有ができました。	コロナ過ということもあり、時間に追われ、ご利用者様やご家族様の思いや不安に寄り添えなかった。	電話や zoom を使ってできなかった部分をできるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	小学校が近くにありますが交流がほとんどないため、交流を持ちたい。運動会や音楽会も聞きに行きたいと思います。	コロナ過で交流が出来なかった。	感染症は終息するのか、交流はどの程度取れるのかわからないが外出も含め、機会を作っていきたい。	マスクの着用や消毒・換気など対策を取りつつ、交流が拡大できるように環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	地域が主催して行うイベントや弊社が行うイベントにお互いが参加できないかを模索してみる。	コロナ過で交流は取れなかったが、近くに咲いている桜やどんど焼きなど見に行くことができた。	地域が主催するイベントや会議も開催されるようになってきた。	感染対策を取りながら、交流の機会を作る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	なじみのあるお店や建物、お祭りなどに行けるよう計画を立てたいと思います。	お花見やどんど焼きに行ってきました。	行きつけの美容院や趣味の碁を打ちに公民館に出かけていた。	自宅に帰ることや、お墓参りなど行きたい場所にけるよう計画を立てる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の場所や中の様子を知っていただき、お互い助け合える関係づくりを深めていきたい。	紙面での報告となってしまいました。	事業所に来ていただく機会がなかったのでわからないとの意見が多く出ていました。	書面では意見交換が難しく、時間を短くしても会議を開催したい。
F. 事業所の防災・災害対策	火事や水害・台風などの自然災害を想定ししっかり対策をとるためのマニュアルを作成する。	5月と11月に災害訓練を行いました。	ふれあいネットワーク会議に参加し、近隣事業者のお話や自治協議会の話の話を聞きました。	年2回の災害避難訓練を継続する。